



通信教育・eラーニング

品質管理の基本的考え方、基礎的な手法がわずか6ヵ月間で身につけ、職場で活用できます！

当講座は、わかりやすいテキストと毎月1回の課題提出で、初めて品質管理を学ぶ方でも品質管理の基礎的な知識を習得できます。決まった日程での集合研修に参加できない多忙な方や、地理的な制約がある方にもおすすめします。

問題解決の手順に沿って、実際の職場での場面を想定した課題に取り組むことで、大きな学習効果を得られます。

特 徴

- 自由な時間に自宅や職場で、効率的に勉強できます。
- 職場の管理・改善のやり方や必要な手法の使い方をわかりやすく学ぶことができ、職場ですぐ役立てられます。
- テキストに準拠した課題で実際に作図や計算、考察に取り組み、学習の効果を確認することができます。
- 提出された課題は採点だけではなく、添削講師により1人ずつポイントを示し添削指導を行います。
- 実務経験豊かな講師から、テキスト内容について直接講義を聴き、理解を深められるスクーリングを行っています(希望者のみ)。

対 象

- ・ 製造業、サービス業などの第一線職場の方
- ・ QCサークルなどの小集団活動のリーダー、メンバー
- ・ 生産・検査などの直接部門、事務・販売サービス・営業などの間接部門の方

期 間

6ヵ月間(毎年7月と1月の定期開講)

講 師

品質管理の実務経験豊富な指導講師が添削指導にあたります

参 加 費

34,000円(一般/会員)
【スクーリング】8,000円(一般/会員)

*税抜き

*スクーリングは1講座につき2回(前期・後期)実施します。
日程は決まり次第Webページでご案内します。

テキスト

テキスト巻末には演習問題があり、反復学習することができます。

<p>[管理・実施編] 2冊</p> <p>第1講 「品質管理」</p> <p>第2講 「職場の改善—問題解決の進め方」</p> <p>第3講 「職場の管理」</p> <p>第4講 「QCサークル活動」</p> <p>第5講 「品質保証」</p> <p>第6講 「品質管理の進め方、これまでの経緯とISO 9000」</p>	<p>[手法編] 2冊</p> <p>第1講 「データとデータのとり方」</p> <p>第2講 「テーマの選定、活動計画の作成に役立つ手法」</p> <p>第3講 「現状把握と目標設定に役立つ手法(1)」</p> <p>第4講 「現状把握と目標設定に役立つ手法(2)」</p> <p>第5講 「要因の解析、対策の検討と実施、効果の確認に役立つ手法」</p> <p>第6講 「標準化と管理の定着に役立つ手法と問題解決事例」</p>
--	--

品質管理の基本が学べるeラーニング！ あなたも、キューシー食品の皆さんと品質管理を楽しく学びませんか？

QC (品質管理) の知識や考え方、手法を学ぶことで、科学的に物事をとらえ、直面する問題や課題を論理的に解決するスキルを身につけられます。「QC的なセンス」は、業種にかかわらず社会人、ビジネスマンにとって必須のスキルなのです。

職場でも、自宅でもインターネットが使えれば手軽に勉強できるeラーニングで、楽しくQCを身につけてみませんか？

日本語版と同じ内容の英語版もございます。外国人を対象とした教材としてご利用ください。

特 徴

- 初めて品質管理を学ぶ方でも、品質管理の基本的な考え方がいつでもどこでも効率的に勉強できます。
- 日本語版副教材『はじめて学ぶシリーズ QCの基本と活用』(日科技連出版社)をベースに制作しました。eラーニング受講前後もサブテキストとして活用できます(英語版副教材はございません)。
- 企業・団体などでの申し込みの場合、管理者の方に受講者の管理(進捗、受講状況の確認)ができる機能を付与できます。

対 象

- ・ 初めて品質管理を学ぶ方
- ・ 企業・組織の新入社員や内定者
- ・ 大学、専門学校、工業高校などの学生

期 間

3ヵ月間 標準学習時間 約3~4時間

参 加 費

【日本語版・副教材含む】
8,900円(一般)/6,900円(会員)/5,500円(学生)
*税抜き
【日本語版・副教材含まず】【英語版】
7,000円(一般)/5,000円(会員)/3,600円(学生)

*団体割引(50名以上)についてはWebページをご覧ください。

日本語版副教材

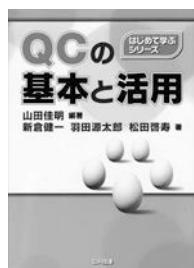
はじめて学ぶシリーズ

『QCの基本と活用』

山田佳明 編著

新倉健一・羽田源太郎・松田啓寿 著

日科技連出版社 発行



品質管理の基本的な考え方、基礎的な手法を学び、QC検定3級にチャレンジする方へ、受検前の復習や合格へ向けた対策として、受講をおすすめします。

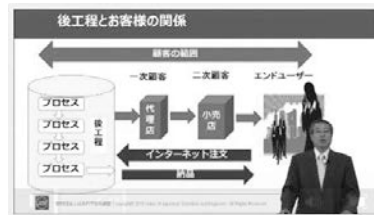
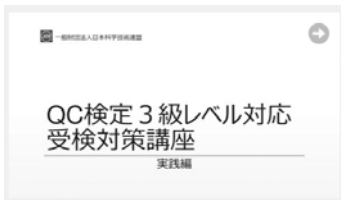


3級レベル対応

当講座では、品質管理の実践編、手法編のいずれかを選択して受講することも可能で、いずれの講座も試験範囲に沿って構成され、各ステップで確認テストや最終総合テストが設けられており、自身の知識レベルを確認することができます。

特徴

- 実際の講義動画を通信機能の付いたパソコン、スマートフォン、タブレットなどから見るができます。
- 動画と講義資料を画面上で同時に見ながら取り組むことができます。
- QC検定3級の出題範囲は2015年の改訂に対応しています。



対象 QC検定3級の合格を目指している方

期間 実践編・手法編／各2ヵ月
2編セット／3ヵ月

標準学習時間 実践編・手法編 各4時間

講師 実践編 福丸典芳(福丸マネジメントテクノ)
手法編 内田 治(東京情報大学)

参加費 【実践編・手法編どちらか1編】

*税抜き 1ユーザー 10,500円(一般/会員)

*団体割引あり 【2編セット】
1ユーザー 15,750円(一般/会員)

ソフトウェア品質技術者資格認定制度 (JCSQE) 対応コース

「ソフトウェア品質知識体系ガイド (SQUBOK Guide) 第1版」に基づいたソフトウェア品質技術を体系的に、短期間で効率的に学習できる教材です。＜レビュー技法→テスト設計技法→品質分析・メトリクス→再発防止＞の一連の学習で、「ソフトウェア品質」の実践スキルを身につけることができます。

特徴

- 日科技連主催の集合研修「ソフトウェア品質技術者初級セミナー」の内容をeラーニングで学習できます。
- ソフトウェア品質に関して経験豊富な実務家・専門家が解説します(音声字幕はありません)。
- 講座受講→確認テストの流れで、理解度を確認しながら学習を進めることができます。
- 本教材は法人も対象に提供しています。自社でeラーニングを実施しており、学習管理システム(LMS)をお持ちの場合、SCORM形式でのコンテンツのみを提供することも可能です。お気軽にお問い合わせください。【SQIP担当 E-mail:sqip@juse.or.jp】

対象 ・ソフトウェア品質に関わるすべての技術者
・プロジェクトの一員として開発業務や品質管理業務を担当したことのある方
・技術者・管理者・品質保証担当として次のステップを目指す方

講師 誉田直美(日本電気株)、野中 誠(東洋大学)、辰巳敬三(日科技連・嘱託、元富士通株)、堀田文明(㈲デバッグ工学研究所)

期間 3ヵ月 **標準学習時間** 約12時間

参加費 1ユーザー 20,000円(一般/会員)*税抜き

カリキュラム

第一単元：ソフトウェア品質マネジメント概論

- ・品質の重要性
- ・品質の考え方
- ・品質のマネジメント

第二単元：レビュー技法

- ・レビューの概要
- ・インスペクション
- ・「読み方」を工夫する
- ・レビューの効果を高めるために

第三単元：テスト技法

- ・テスト(概要)
- ・テストケース設計
- ・主要なテスト技法
- ・テスト技法の選択と組み合わせ

第四単元：品質分析・評価、メトリクス

- ・定量的管理の意義
- ・欠陥を数える
- ・基本的なプロダクトメトリクス
- ・基本的なプロセスメトリクス
- ・いくつかの可視化・分析手法

第五単元：再発防止～バグ原因分析からのフィードバック～

- ・再発防止活動の意義
- ・バグ分析とフィードバック
- ・プロセスの改善

医師、CRC（治験コーディネーター）、データマネージャー、あるいはモニターとして臨床試験に関わっていて、統計を勉強したいと考えている初心者の方を対象としています。セミナーに参加したいけれど都合がつかずに参加することができない、会場まで遠く、参加する機会をなかなかつくりたくないという方も、職場で、自宅で手軽に学習できます。また、他の統計セミナーに参加する前の事前勉強にもなる内容です。

特 徴

- インターネットが使える環境なら、好きな時間にどこでも学べます。
- 生物統計の概念を基礎からわかりやすく勉強できる初級コースです。
- 経験豊富な専門家がていねいに解説します。
- 章単位でテストがあり、自身の理解度を把握できます。

対 象

臨床統計の基礎を学びたいすべての方
大学・病院の医師・スタッフ、CRC、MR、モニタリング部門、統計部門、DM部門、メディカルアフェアーズ部門、大学生、専門学校生、他

講 師

大橋靖雄（中央大学）他

期 間

6 ヶ月

標準学習時間

約6時間

参 加 費

1 ユーザー 20,000円（一般/会員）
学生1 ユーザー 15,000円

*税抜き

*団体割引あり

カリキュラム

はじめに

第1章 統計とは何か

- ・統計とは

第2章 ばらつきのあるデータをどう要約するか

- ・記述統計

- ・データの要約

- ・データがばらつくということ

第3章 推定と仮説検定

- ・推測統計の基本

第4章 統計的観点からみた臨床試験のしくみ

- ・臨床試験の目的と流れ

- ・盲検化とランダム化

- ・優越性試験と非劣性試験

第5章 観察研究

- ・観察研究の概要

- ・観察研究のデザインの紹介

- ・代表的な観察研究のデザインに対応する解析と効果の指標

- ・最近の話題とまとめ